

<h1>日本文学</h1> <p>(Japanese Literature)</p>					担当教員
					非常勤講師 瀧本 和成
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
人と文化	1年次 前期	講義	1.5単位	選択	

## 【概要】

1910年代に創作(発表)された森志げの作品(小説)を時代や社会背景を視野に入れ、立体的な空間のなかで読解、鑑賞する。作者(森志げ)・作品(「あだ花」、「産」など)・読者(同時代～現代)三者の有機的な関係性のなかで文学作品を分析、考察して行きたい。

この授業は全て対面授業で実施する。

## 【授業の一般目標】

1910年前後(明治40年代)に発表された森志げの文学作品の読解を通して、近代文学作品の分析・意味づけ・論証方法を修得することを第一義とする。併せて文学・芸術(全般)の魅力や楽しさを享受し、その役割や(存在)意義について考察したい。

## 【準備学習(予習・復習)】

指定する作品を読んで講義に臨むこと。文献を読み込む時間としては毎回概ね1 2時間程度を想定する。(講義3回毎に1文献を読むことを想定した場合)

## 【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	日本近代文学の流れ	瀧本	日本近代文学史の流れを把握する。
2	日本近代文学の特質	瀧本	日本の近代文学・芸術の特質を把握する。
3	森志げについて(1)	瀧本	森志げの一生を俯瞰し、理解する。
4	森志げについて(2)	瀧本	森志げの創作作品の特徴を把握する。
5	森志げと森鷗外	瀧本	夫 森鷗外の作品との関係性を理解する。
6	小説「あだ花」(1)	瀧本	小説「あだ花」を読解する。
7	小説「あだ花」(2)	瀧本	小説「あだ花」を鑑賞し、その内容を分析・考察する。
8	小説「あだ花」(3)	瀧本	作品の主題、作者の意図を理解する。
9	小説「産」(1)	瀧本	小説「産」を読解する。
10	小説「産」(2)	瀧本	小説「産」を鑑賞し、その内容を分析・考察する。
11	小説「産」(3)	瀧本	作品の主題、作者の意図を理解する。
12	小説「友達の結婚、バックの大臣、流産」(1)	瀧本	左記作品を読解する。
13	小説「友達の結婚、バックの大臣、流産」(2)	瀧本	左記作品を鑑賞し、その内容を分析・考察する。
14	小説「友達の結婚、バックの大臣、流産」(3)	瀧本	作品の主題、作者の意図を理解する。
15	総括・まとめ		

(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書 『森志げ全作品集』	瀧本和成・深町博史編	嵯峨野書院
参考書 『明治文学史』	上田博・瀧本和成編	晃洋書房
その他の参考書・研究書は講義中適宜指示する。		

## 【成績評価方法・基準】

小レポート20%、定期試験80%

## 【評価のフィードバック】

試験に関する講評をmanabaにて公開する。